

児童館と保育所の複合化について

令和7年5月12日 子ども家庭部

I-①. 検討の背景と課題（児童館）

遊びを通して科学に対する興味・関心を高め、創造性豊かな児童を育むことを願い科学体験できる機能を併設して、大型児童センターとしてオープン



◎開館時間 午前9時から午後5時

◎利用の範囲 **児童（18歳まで）** 及び
児童の健全育成を目的とする団体

【課題】

➤ 設備・展示品の老朽化

◇児童館コスモス…「天文と物理」をテーマに
昭和62年開館（築38年）

◇児童館ヒマワリ…「生物と環境」をテーマに
平成7年開館（築30年）

➤ 居場所としての機能強化

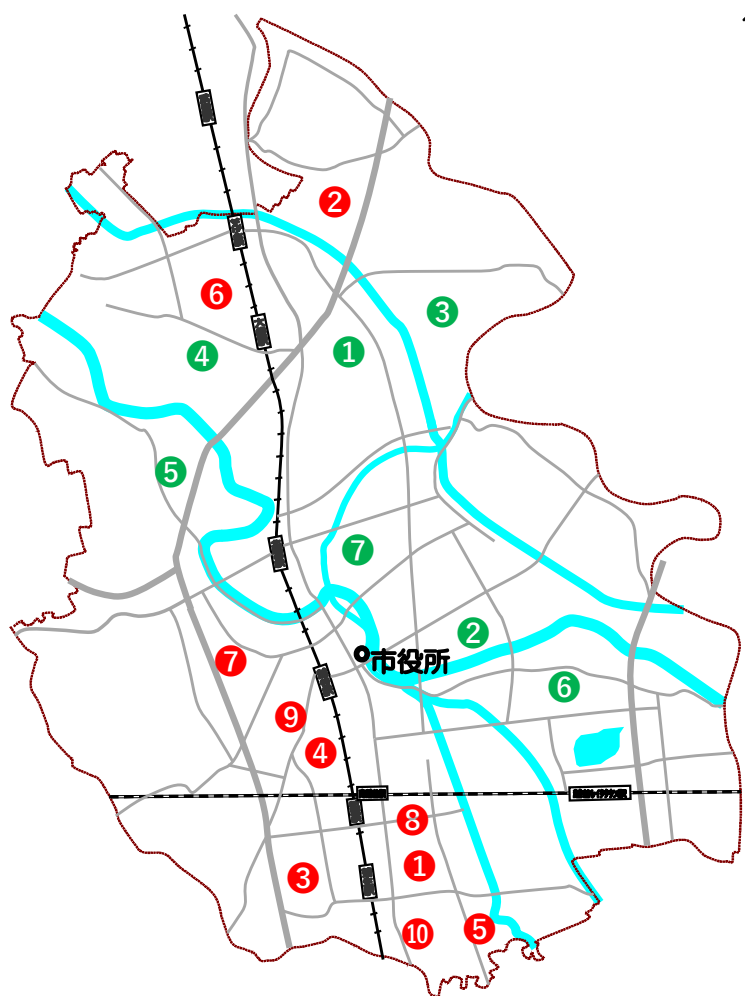
◇児童館へ求められる機能が時代とともに変化

- 中・高校生も含めたこどもの居場所としての機能
- 貧困・不登校など福祉的課題への対応に向けた

ソーシャルワーク機能強化

1-②. 検討の背景と課題（保育所）

市内に公立保育所は17か所あり、最も古い建物は昭和43年建設の桜井保育所で、次いで昭和44年建設の蒲生保育所となっている。



公立保育所

◆建て替え済施設（緑）

保育所名	建替年月日
① 深田保育所	平成13年4月1日
② 増林保育所	平成14年4月1日
③ 新方保育所	平成22年4月1日
④ 大袋保育所	平成25年4月1日
⑤ 荻島保育所	平成26年4月1日
⑥ 大相模保育所	令和3年4月1日
⑦ 緑の森公園保育所	令和7年4月1日

◆要建て替え施設（赤）

保育所名	建築年月日
① 蒲生保育所	昭和44年4月1日
② 桜井保育所	昭和43年4月1日
③ 七左保育所	昭和46年4月1日
④ 赤山保育所	昭和50年4月1日
⑤ 蒲生南保育所	昭和50年4月1日
⑥ 大袋北保育所	昭和52年4月1日
⑦ 宮本保育所	昭和54年4月1日
⑧ 登戸保育所	昭和55年4月1日
⑨ 赤山第二保育所	昭和56年4月1日
⑩ 蒲生第三保育所	昭和57年4月1日

※蒲生保育所（2階建）の建替えが桜井保育所（平屋）より優先

「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第14条により特定既存耐震不適格建築物（階数2以上500㎡以上の建物）の所有者は、耐震改修を行うよう努めなければならないとされている。

共 通

昭和56年以前に建設された、建築基準法に定める耐震基準が強化される前の施設について順次建替えが必要

※⑩蒲生第三保育所は、新耐震基準ではあるが老朽化やバリアフリー非対応のため建替えが必要

既存敷地内での建替えや既存建物の耐震化は、現に通う児童に与える影響や、長期休暇期間がないことから困難

蒲生保育所

建替候補地を検討してきたが、周辺地域での用地確保は困難

桜井保育所

桜井地区の中部（せんげん台駅周辺）には大型保育施設がない

【参考】蒲生地区



●就学前児童数（0～5歳）の推移

	R2.4.1	R6.4.1
市全体	16,913 人	14,210 人
蒲生	1,914 人	1,663 人

※R2→R6 の減少割合は両方とも 16%程度

●蒲生地区内の保育所等の利用状況 (R6.12)

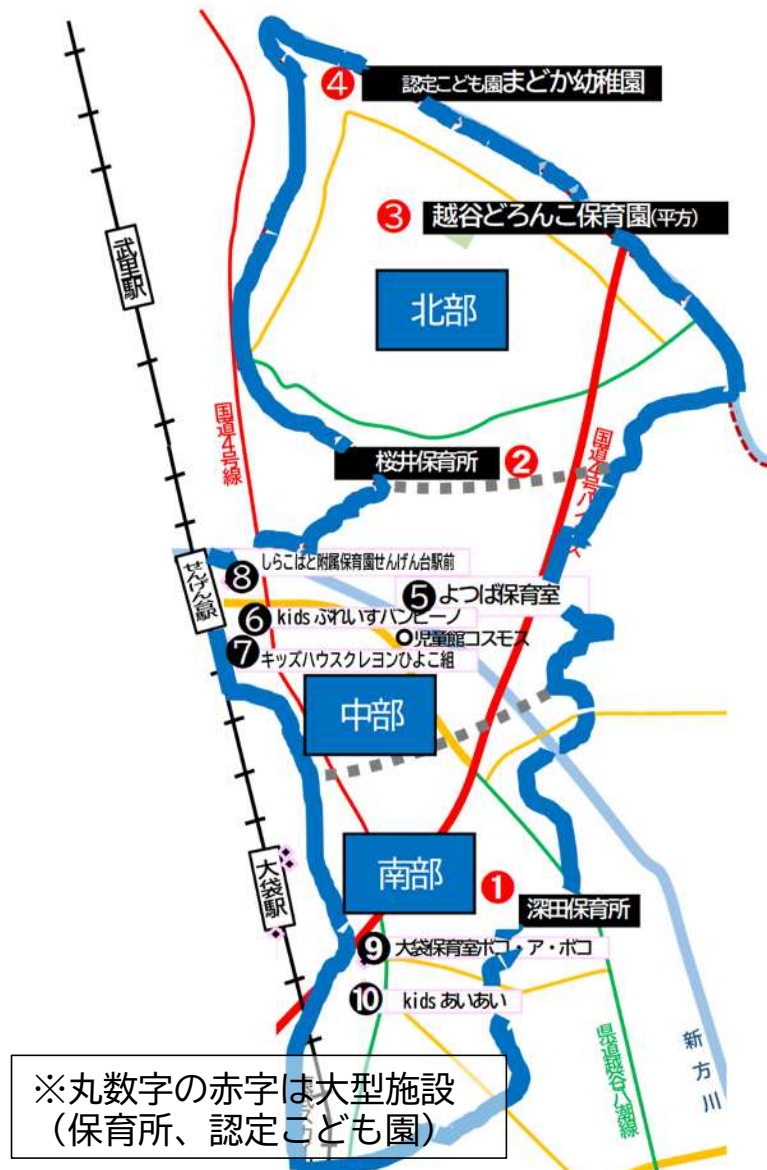
エリア	定員	利用	割合
北部①②⑤～⑨	410	399	97.3%
南部③④⑩	211	205	97.2%
地区合計	621	604	97.3%

※瓦曽根に保育施設はなし

※地区内での利用に偏りはなし

※蒲生地区内に、一定の広さを有する土地
の確保が困難

【参考】桜井地区



●就学前児童数（0～5歳）の推移

	R2.4.1	R6.4.1
市全体	16,913 人	14,210 人
桜井	1,447 人	1,225 人

※R2→R6 の減少割合は両方とも 16%程度

●桜井地区内の保育所等の利用状況 (R6.12)

エリア	住所	定員	利用	割合
北部	平方	280	250	89.3%
②～④				
中部	大泊、千間台東	60	61	101.7%
⑤～⑧				
南部	下間久里、大里	154	135	87.7%
①⑨⑩				
地区合計		494	446	90.2%

※中部（大泊、千間台東）は大型施設なし



人口減少、定員に対する利用割合、中部は大型施設がないこと等を踏まえ、**建替えの場所は「中部」（せんげん台駅周辺）を中心に検討**

2. 越谷市公共施設等総合管理計画基本方針について

多くの公共施設が老朽化し、大規模な改修や建て替えの時期を迎えている

人口減少・少子高齢化により、施設に対するニーズが変化している

施設を維持するためには多額の費用が必要

公共施設等の老朽化問題にどのように対処するか

基本方針1 コストの抑制と財源確保

基本方針2 建物の総量の抑制

基本方針3 施設を長く使い続ける

基本方針4 管理体制の構築



■目標1 建物の総量の縮減
保有建築物の面積39%以上削減

■目標2 建物の長寿命化
建物を80年使用する

3. 今後の検討事項

保育所…耐震基準を満たさない施設の早期の建て替えが必要、建て替え用地の候補地選定にあたり、一定の面積確保・利便性等が重要

+

「越谷市公共施設等総合管理計画」の方針への対応

- ①建物の総量の縮減（保有建築物面積の39%以上削減）
- ②建物の長寿命化（80年使用）

⇒ 児童館と保育所の複合化

施設の状況

	保育所	所在地	建築年	敷地面積	延床面積
児童館	ヒマワリ	蒲生旭町11-35	H 7	3,253.85㎡	3,230.52㎡
	コスモス	千間台東2-9	S 6 2	4,314.9㎡	2,874.56㎡
保育所	蒲生保育所	蒲生寿町9-23	S 4 4	1,663.0㎡	814.38㎡
	桜井保育所	平方1349	S 4 3	1,907.0㎡	486.33㎡